

志津見ダムの運用について

平成29年6月28日

国土交通省 出雲河川事務所

志津見ダムの概要

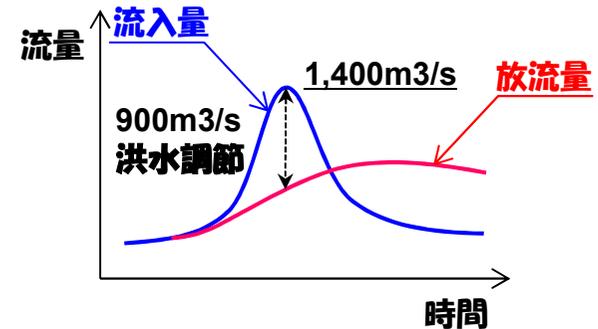
- ・水系河川名 : 斐伊川水系神戸川
- ・管理事務所 : 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所
- ・所在地 : 島根県飯石郡飯南町
- ・完成年度 : 2011年
- ・形式 : 重力式コンクリートダム
- ・目的 : 洪水調節、河川環境の保全
工業用水の供給、発電
- ・堤高 : 81m
- ・堤頂長 : 266m
- ・流域面積 : 213.8km²
- ・湛水面積 : 2.3km²
- ・洪水調節 : 自然調節方式



志津見ダムの機能

①洪水調節

志津見ダム地点における計画高水流量 $1,400\text{m}^3/\text{s}$ のうち、 $900\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行い、神戸川の洪水ピークを低減するとともに、斐伊川放水路とあいまって斐伊川下流部の洪水を低減します。



②河川環境の保全

ダム下流で利用されている用水を安定的に供給するとともに、河川に生息・生育する動物・植物の保護のために必要な水を流します。

地点名	期間	正常流量
馬木	3月20日～9月30日	$4.4\text{m}^3/\text{s}$
	10月1日～3月19日	$3.1\text{m}^3/\text{s}$

③工業用水の供給

島根県に対し、馬木地点において工業用水として、新たに1日最大 $10,000\text{m}^3$ の取水を可能とします。

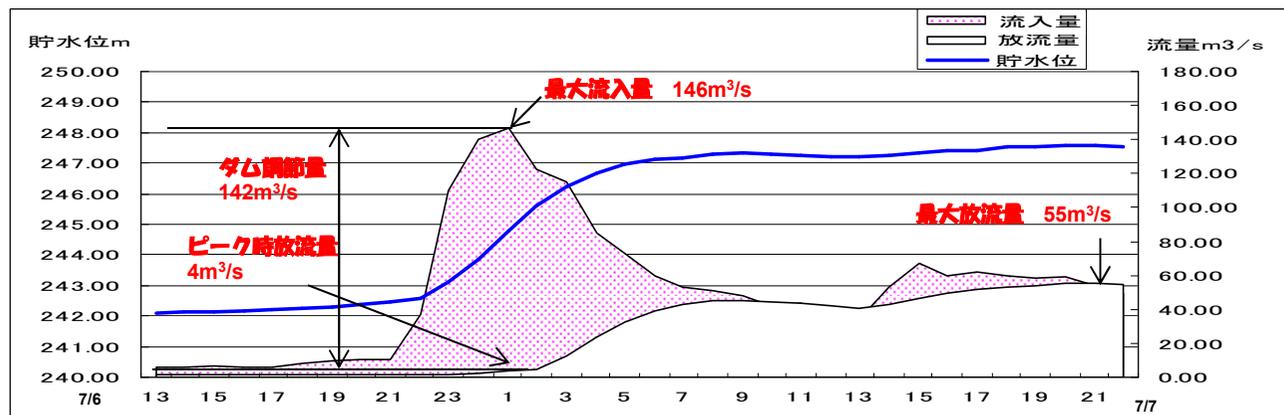
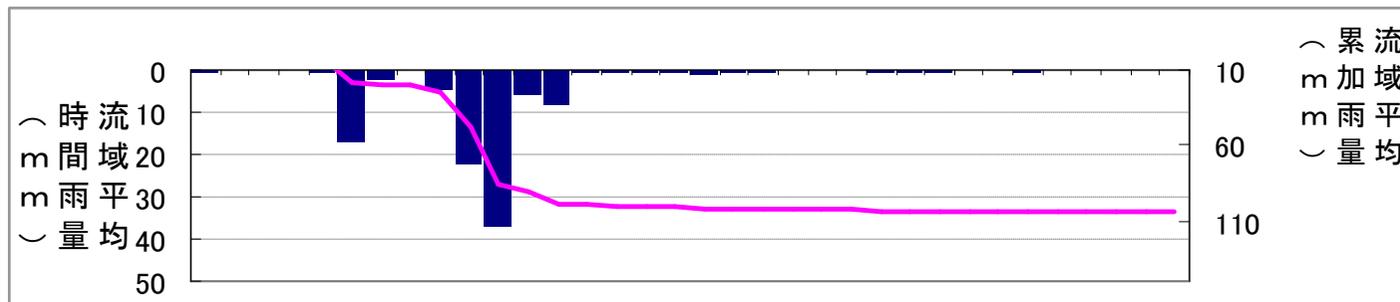
④発電

島根県が設置した発電所において、最大出力 $1,700\text{kw}$ の発電を行います。

平成24年7月出水の調節効果(1)

- 梅雨前線が停滞し、西日本で活動が活発化して、九州南部で記録的な大雨となった。
- 志津見ダムの流域平均累加雨量は104.3mm、流入量は最大146m³/s、最大流入量時の放流量は4m³/sで、調節量は142m³/sであった。
- 出水期間中、最大約3.2百万m³(出雲ドーム7杯分)の水を調節し、下流の水位を低減させた。

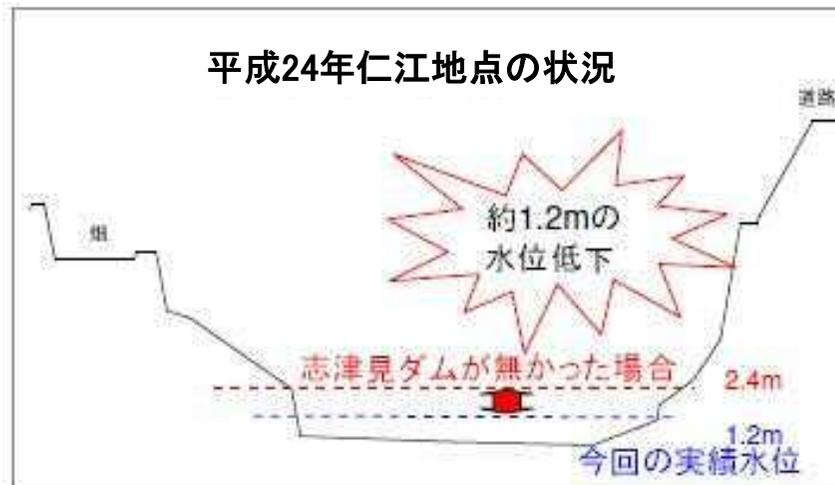
【平成24年7月6日出水の状況】



平成24年7月出水の調節効果(2)

- 志津見ダム of 防災操作により、ダム下流の仁江地点(出雲市佐田町窪田付近)では、約1.2mの水位を低減させる効果があったと考えられる。

【平成24年7月6日出水の状況】



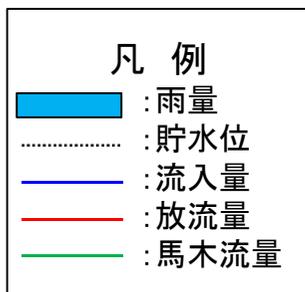
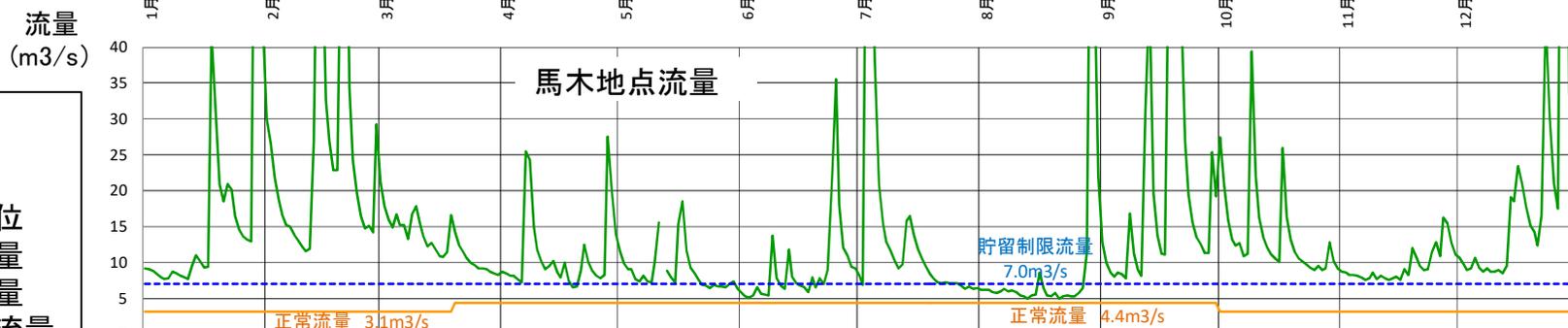
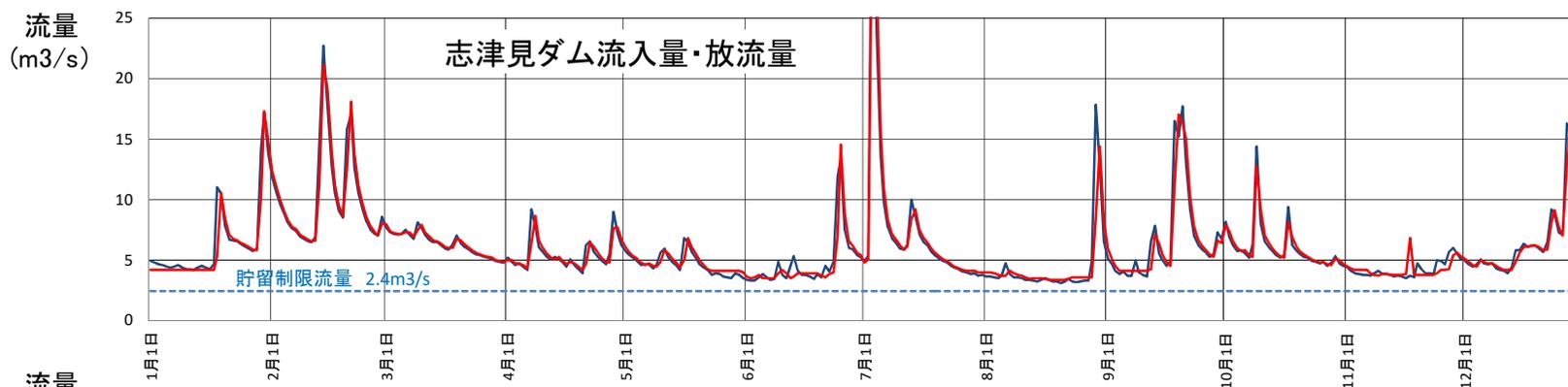
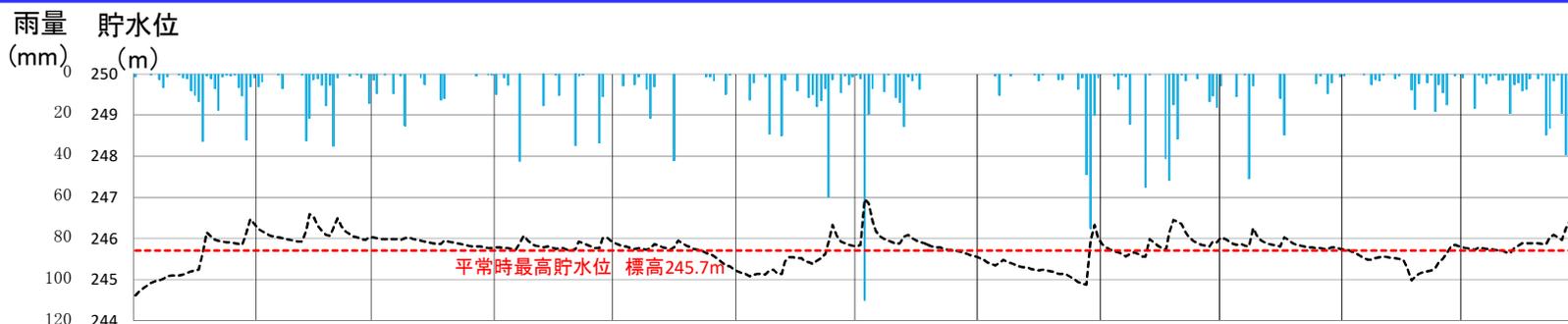
平成24年7月7日6時の仁江地点



平常時における放流

- 河川環境の保全のためダム下流で定められている正常流量を満足するように放流。
- ダム地点、馬木地点で定められている貯留制限流量を下回る場合は、ダムに貯留せず、流入量相当を放流。
- 平常時最高貯水位を上回る場合は、常用洪水吐から放流。
- 平常時最高貯水位を下回っている場合で、貯留制限流量を上回っている場合にダムへ貯留。

平成28年
ダム諸量



※馬木地点流量は「暫定値」であり、変更される場合があります。